



エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	15.5アール
保証量	玄米698kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	「海」
Co2回収	約1550kg



高橋秀紀

7月9日には猪被害対策として、電気柵を使用し田んぼの周囲を囲い、猪の侵入を防ぐ処置を行いました。先月から行っていた中干しは7月13日に終了しました。幸い日南町では自然災害もなく、適度な雨と天候に恵まれ、稲も順調に成育しています。今月後半には、幼穂形成期に入り8月初めに収穫期を迎えます。今後は水の管理が重要になってきます。中国地方も梅雨明けし、いよいよ夏本番となります。

7月の稲の状態と作業内容

6月下旬ごろから始まった「中干し」は7月上旬で終了し、天候にも恵まれたことでしっかりと土の表面を乾かすことが出来ました。表面がひび割れするくらいに固まることで秋の収穫時にトラクターが沈むことなく安定して走らせることができるため、非常に重要な作業です。

また電気柵を設置し、水田だけでなく畑も荒らす猪などの対策もしっかり行いました。稲の生育としては今年空梅雨で暑い日が続いたこともあり、7月末には幼穂が出始めていました。来月に収穫してよいよ最終段階に入ります。



電気柵



7月の稲



草刈り



7月末の穂